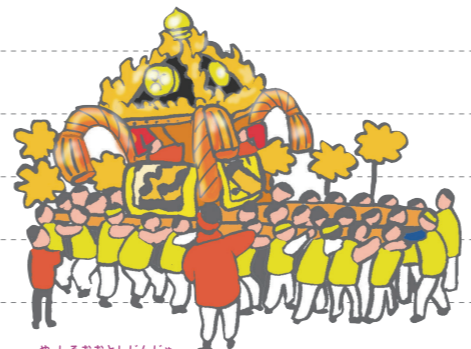


8 城北地区



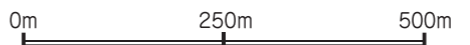
旧石器時代から人々が暮らしていた地域だという証拠が、八代山古墳や船場川沿いで見つかりました。どんなものが見つかったのか、調べてみましょう。



調べたこと、わかったことを書いてみよう!



- 遺跡・史跡、伝説・名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り、伝統行事
- 美術品
- 伝説・名所
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他



あかしがじんじゃ 赤鹿神社
 応仁年間(1467~69)のころ、妻鹿城の殿さまの三番目の子ども定頼が、伏見天皇が姫路にいられたときに休憩したといわれる場所に赤鹿神社をおまつりしました。平成7年(1995)1月1日から赤鹿神社を赤鹿稲荷社という名前に変えました。



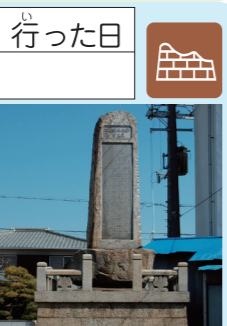
くわばらじんじゃ 桑原神社
 桑原神社はかつての伊伝居村の守り神で、明治7年(1874)に村の神社の一つに加わりました。まつられているのは伊弉那美命・中筒男命の二つの神さまです。



くわばらじんじゃ 桑原神社の狛犬
 桑原神社にある狛犬です。台の部分には「明和元年」(1764)と彫られています。姫路市内にある神社の狛犬の中では、一番古い狛犬として知られています。



でんふしみてんのうりきやうあとひ 伝伏見天皇離宮跡の碑
 この石碑は、ここが伏見天皇の別荘である宮殿があったところだとして、昭和5年(1930)に郷土の歴史を研究する矢内先生が中心となって建てたものです。



ますいでら ずいがんじもとてら 増位寺(随願寺の元のお寺)のあった所
 姫路市伊伝居字堂ノ元という場所です。井出村には昔、「増位寺」という大きなお寺があったようです。「播磨鑑」という本や随願寺の住職によると、増位寺(今の随願寺)は井出村にあったといわれています。



やしるおおとしじんじや 八代大歳神社
 かつて八代には南八代村の大歳大明神と北八代村の大歳大明神という二つの神社があって、明治44年(1911)にこれらをあわせておまつりし、今の芝崎山に移して大歳神社となりました。昭和26年(1951)、火事によってすべて焼けてしまいました。昭和33年(1958)に社殿が完成しました。



やしるおおとしじんじや こども やたい まつり 八代大歳神社子供屋台の祭り
 10月第2月曜日の前々日と前日に行われます。前々日の宵宮では、子供屋台(5台)がいっしょに威勢よく練り合わせを行います。前日の本宮では、9台の子供屋台と2台の樽神輿が順番に宮入をして、1年間の氏子の無病息災のおはらいを受けます。



やしるおおとしじんじや 八代大歳神社 まつだいらなおりきしんとりい 松平直矩寄進の鳥居
 やしるおおとしじんじやの境内に、姫路城の殿さま松平直矩が延宝8年(1680)に寄付をした鳥居があります。



やしるやまこふん 八代山古墳
 昭和26年(1951)に広嶺中学校の生徒が友だちと水晶をとりに行った時に発見しました。金山から西にのびる尾根のあたりにあります。その後、芝崎山二号墳や東光寺山古墳が発見され、昭和45~46年(1970~71)に八代山古墳群の発掘調査が行われました。



りんざいしゅうとうこうじ 臨濟宗東光寺
 はっきり分かっていませんが、永仁年間(1293~98)につくられたと伝わっています。その後、戦によって荒れはててしまいましたが、鎌倉時代には伏見天皇の別荘である宮殿だったことから、姫路城の殿さま池田輝政が荒れはてたことを残念に思い、この場所に建て直しました。

